

2004年5月12日 創刊号

# こあじ冊子

～リトルターン・プロジェクト ボランティア通信～



## ボランティア通信「こあじ冊子」発刊にあたって

水辺の妖精と言われるほど美しいコアジサシの屋上営巣地も皆様のおかげで4年目を迎え、「コアジサシのふるさと」と親しまれるほどになりました。2001年の夏、陽炎のたつ炎天下で見たものは幻ではなかったのですね。2002年に巣立ったコアジサシがニュージーランドで発見されたことは夢のような出来事でした。昨年は1,600羽もの幼鳥が巣立っていき、今年飛来するものの中にここで生まれたものがあるかも知れないと思うと、おもわず胸が躍ります。

さてこの度、営巣地の情報などを満載した会報を発刊することになりました。この会報によって営巣地で何がおこっているのか、何が問題なのかを知っていただき、希少種コアジサシの里親として、いっしょに成長を見守っていただければ、そしてさらなるご支援をいただければ幸いです。

リトルターン・プロジェクト代表 増田 直也

## コアシサシ飛来速報!

- 4月17日 今年初めての飛来確認!!  
約10羽が営巣地に飛来。数時間にわたって上空を旋回。2羽が営巣地に舞い降りた。
- 4月23日 約400羽が営巣地と空港の間にある干潟に飛来。そのうちの約200羽が、魚の群れを追いかけ、次々に水中にダイビングしていた。約30羽が営巣地を偵察。
- 4月26日 約50羽が営巣地に舞い降りた。
- 4月27日 雨の中、数羽のコアシサシが営巣地に降り立ち、休息していた。  
東京港野鳥公園の干潟に2羽のコアシサシが飛来。
- 4月29日 コアシサシが6羽、営巣地上空を旋回。
- 5月4日 約350羽が干潟に、4羽が営巣地に飛来。

みなさまのご協力により、今年もコアシサシがたくさんやってきています。  
あとは、コアシサシが営巣してくれることを祈るのみです。

## 草むしり報告・2004春

～草むしりお疲れさまでした!～

草の生えた場所を好まないコアシサシのために、3月20日から4月11日までの6日間、営巣地の草むしりを実施しました。口コミ、新聞などの訴えで386人の方々から申し込みがあり、延べ451人のボランティアが集まってくれました。遠くは群馬や埼玉からも。年齢も小学生から最高齢の81歳!まで。試行錯誤しながらも2.8haの作業を終わらせることができました。(新田)



## これまでの経緯 ～発足から4年。「リトルターン・プロジェクト」の軌跡～

2001年夏、絶滅危惧Ⅱ類の渡り鳥コアシサシ(英名: Little tern)が発見されたのは、東京都大田区の森ヶ崎水再生センターでした。広大な屋上にてんと転がる240個の卵。しかし、その年に巣立つことができたのはわずか5羽にすぎませんでした。この事態を危惧し、コアシサシたちが安心して子育てできる環境を整備するために自然保護団体「リトルターン・プロジェクト」が立ち上げられたのです。

下水道局、大田区と「リトルターン・プロジェクト」の協働のもと、多くの市民ボランティアの協力を得て行われたこの活動、2002年は約600羽、2003年は約1600羽ものヒナが旅立つという大成功を収めました。(赤瀬)

## これからの予定

### ◆ 東京バードフェスティバル(TBF)2004 in 東京港野鳥公園

日時:5月22・23日 10:00~16:00 問い合わせ先:080-1173-7534(受付時間...10:00~20:00)

リトルターン・プロジェクトでは、ブースでの写真展示やコアジサシ観察会等を実施します!

詳しくはTBF-HP([http://www.tptc.or.jp/park/topics/topics\\_025.htm](http://www.tptc.or.jp/park/topics/topics_025.htm))をご覧ください。

### ◆ コアジサシ観察会(リトルターン・プロジェクト主催)

第1回 6月6日(日)11:00~14:00 第

2回 6月19日(土)11:00~14:00 第

3回 7月4日(日)11:00~14:00

※ 本観察会はボランティア作業参加者、および、リトルターン・プロジェクト支援者を対象としております。お申し込みは、リトルターン・プロジェクトのHP

<http://www.metro-npo.net/littletern/> の観察会窓口、あるいはハガキで氏名・電話番号・住所・年齢・観察会参加希望日を明記の上、

〒143-0015 東京都大田区大森西 5-10-22 増田方 リトルターン・プロジェクト まで、希望日の1週間前までにご投函ください。

### ◆ 草むしり、コアジサシ営巣地整備作業

8月下旬、9月上旬を予定

### ◇ 『学生バードソン』開催!

6月13日、自然保護チャリティーイベント『NEC 学生バードソン 2004』が実施されます。野鳥観察と募金活動を組み合わせたこのイベント、集まった募金はコアジサシ保全のためにリトルターン・プロジェクトへ寄付されます。

詳しくは学生バードソン HP

<http://www005.upp.so-net.ne.jp/fan/> をご覧ください。

## スタッフ紹介

田中 良平

(東京港グリーンボランティア)

野鳥公園という恵まれた環境の中から外に出てみて初めて、ボランティアというものがまだまだ世間に認知されていないということが分かりました。このリトルターン・プロジェクトの果たしている役割の大きさをしみじみ感じています。森ヶ崎から世界に環境問題を発信できたら幸せ!



戸津 久美子

(東京大学大学院修士課程2)

リトルターン・プロジェクトには研究者として2003年の整備から関わり始め、現在はスタッフとして整備、観察会の運営、普及活動に携わっています。今年もたくさんのコアジサシが営巣してくれることを願っています。ホームページに随時調査の報告をする予定なのでぜひご覧ください!



## スタッフコラム ～4年間をふりかえり～

コアジサシの営巣発見、営巣調査、水処理センターと大田区へのお願いなど、はじめは仲間内でのボランティアでした。3年前のことです。その年の暮れには水処理センターのほうで、スラッジライト\*を敷いてくれることになって、それ以上はできないとあきらめムードでした。でもスラッジライトは赤っぽい色。白地の卵が目立ってカラスにやられてしまうと、やきもき。これを野鳥公園でボランティアをしている仲間に伝えたら、行動力のあるおじさんパワーが炸裂して、なんとか貝殻を手に入れることができました。

さあ、たいへん、広い屋上に貝殻をまく作業はどれくらいの手がいるか、だれにもわかりません。とにもかくにも、ボランティアを募ろうということになって、あちこちのメーリングリストに掲載をお願いしたり、新聞にも出してもらったり、チラシ配りをしたところ、思わぬ反響があって、たくさんのボランティアが集まり、熱心な作業が行われました。

翌年には、下水道局の協力の下、コンクリートがらをまくことに。貝殻まきとは違って、コンクリートがらは重くて作業はたいへんでしたが、またまた多くのボランティアが集まって、こなすことができました。—そしてこの年から雑草が繁茂しはじめたのです。コアジサシは草原では営巣しない、ということで、草抜きボランティアのはじまりです。しかし、雑草パワーはコンクリートがらの重さよりも数段上でした。袋に詰めた草の重さも、けっこうなもの。これまでは運び入れるだけでしたが、反対に、草を取り除き、運び出す作業は、予想以上にたいへんでした。

でもボランティアのパワーも健在でした。新聞報道もあって、またたくさんのボランティアが集まってくれました。今年の春は天候にめぐまれず、どこまで作業できるか不安もありましたが、何とか草も取り除き、コアジサシを迎えられそうです。

みなさん、ありがとうございました。(八木)

\*スラッジライトとは……下水処理の過程で生じた汚泥を高温で加熱した粒状のもの。



---

◇ お問合せ先

住所：〒143-0015 東京都大田区大森西 5-10-22 増田方 リトルターン・プロジェクト

E-mail : littletern\_pj@hotmail.com

Tel : 080-1173-7534 (受付時間…10:00～20:00)

◇ HP-URL <http://www.metro-npo.net/littletern/>

◇ 発行 リトルターン・プロジェクト

◇ 編集 柴田英美・戸津久美子・赤瀬悠甫

◇ 写真撮影 伊東真寿美・増田直也

◇ イラスト 岩本久則